

「情報化施工推進会議」の設置について

1. 会議設置の趣旨

I C Tを活用した新しい施工技術（情報化施工）については、これまで、試行工事や技術基準類の整備を進めてきており、その一方で、一部の大規模工事等においては既に導入されているものの、一般工事への普及には至っていないのが現状である。

我が国の建設業は、製造業等の他産業に比べ低い労働生産性や、少子高齢化による熟練者不足、建設現場の安全確保など多くの課題を抱え、早急な対応を求められている。また、近年のI C Tの進展とイノベーションの推進、品質確保・監督検査の重要性、総合評価方式の導入など、施工を取り巻く状況も大きく変化してきている。

このような諸事情を踏まえ、本推進会議は、産学官連携の下、これからの建設施工分野におけるイノベーションを実現する新しい施工方法である「情報化施工」の戦略的な普及促進を図ることを目的に設置する。

2. 検討体制

本推進会議は、学識関係者、施工関連有識者、行政・発注関係者の委員により構成する。必要に応じて、下部組織としてWG体制も構築する。

3. 開催頻度

本年7月頃までに4回程度開催し、具体的な目標の設定や、目標達成のための諸課題の解決に向けた各種制度面、技術面の方策やスケジュールをとりまとめた戦略的な推進方策である「情報化施工推進戦略（仮称）」の策定を行う予定。

以降は、年2回程度を目途に、定期的に推進会議を開催し、推進戦略の実施状況の評価及び推進戦略の見直しを実施する予定。

(当面の開催予定)

第1回推進会議 平成20年2月25日

(その後、平成20年7月までに3回程度開催予定)

平成20年7月頃を目途に「情報化施工推進戦略(仮称)」をとりまとめ

以上